

# HTS-VOICE

Hitec 2.4GHz テレメトリー  
ヴォイス アナウンスシステム  
取扱説明書



HITEC 2.4GHz  
Telemetry System

## はじめに

この度は当製品を買い上げ、誠にありがとうございます。  
HTS-VOICEはHitecテレメトリーの各情報を音声(英語)でアナウンス  
しますので送信機の液晶画面を見る事無くテレメトリー情報を確認でき  
安全にフライトする事ができます。

ご使用の為にOPTIMA受信機が必要です。また、各種センサー情報  
を確認するにはHTS-SSセンサーステーションと各センサーが必要です。  
尚センサーステーションを使用しなくても受信機の電源電圧とSPC電圧  
はアナウンスされます。

当製品は模型用を対象に販売されております。アナウンス精度や即時  
性について保証するものではありません。  
模型用以外へのご使用はご遠慮ください。

※お使いの送信機、RFモジュール、受信機のファームウェアは常に最新版でご使用ください。  
ファームウェアのアップデートは当社Webサイトでご確認ください。

### 当説明書でのアイコン説明



## サポートについて

### 修理依頼について

- ・修理を依頼される時はお手数ですが必ず下記項目をメモにて同封下さい。  
よりの確な修理が行えます。
- 1)故障状況または依頼内容、 2)使用期間、 3)修理上限希望金額
- ・ご連絡がない場合、修理の上限金額は定価の50%以内で行います。  
(送料別)それ以下での金額をご希望する場合は必ず事前に連絡を  
お願い致します。
- ・特にお客様の指示が無い場合、各部は販売時の状態に戻します。
- ・点検の結果、異常が発見されない場合でも作動点検料金は発生いたし  
ます。
- ・当製品は修理にお時間がかかる場合があります。

### お問い合わせ、修理品送付先

〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-10  
株式会社 ハイテック マルチブックス ジャパン

電話:050-5519-4989

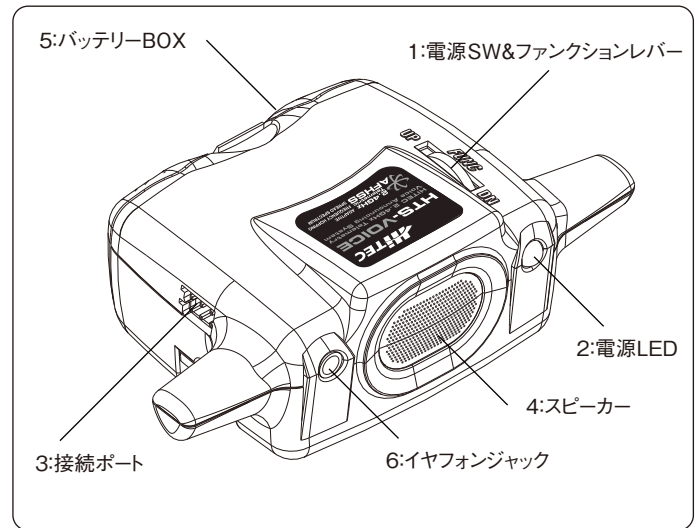
受付時間:月曜日～金曜日(祝祭日・夏期休暇・年末年始を除く)

10:30～12:30、13:30～16:30



お問い合わせ: <http://hitecrd.co.jp/mailform/>  
URL: [www.hitecrd.co.jp](http://www.hitecrd.co.jp)

## 各部名称



- 1:電源SW&ファンクションレバー  
長押しで電源のON-OFF、その他各設定、音量の増減を行います。
- 2:電源LED  
ONの時に点灯します。
- 3:SPECTRA2.4GRFモジュールと接続します。二か所ありますが  
どちらでもOKです。又HPP22、HTS-I-VIEW等との接続にも使用します。
- 4:スピーカー
- 5:バッテリーBOX  
単四アルカリ電池×2本を使用します。Ni-MH電池も使用できますが  
電池電圧低下警告が早めに出ます。
- 6:イヤフォンジャック  
イヤフォンを接続できます、この時スピーカーはOFFになります。

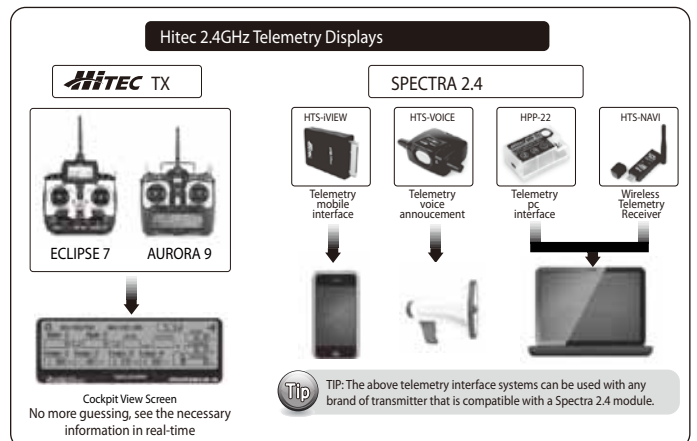
### ■電池電圧の警告

本機の乾電池電圧が低下した場合、警告アナウンスが出ます。

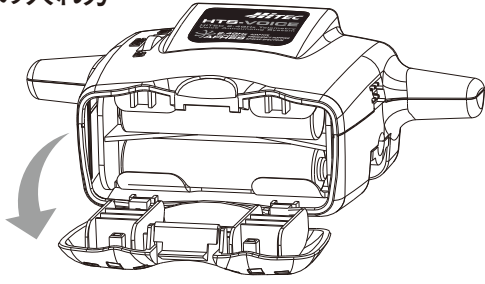


電圧警告の電圧設定は現在はできませんが将来のファームウェアの  
アップグレードで設定可能になる予定です。

### ■ファームウェアのアップデート(HFP22使用)画面ではHTS-VOICEを選択してください。



## ■電池の入れ方



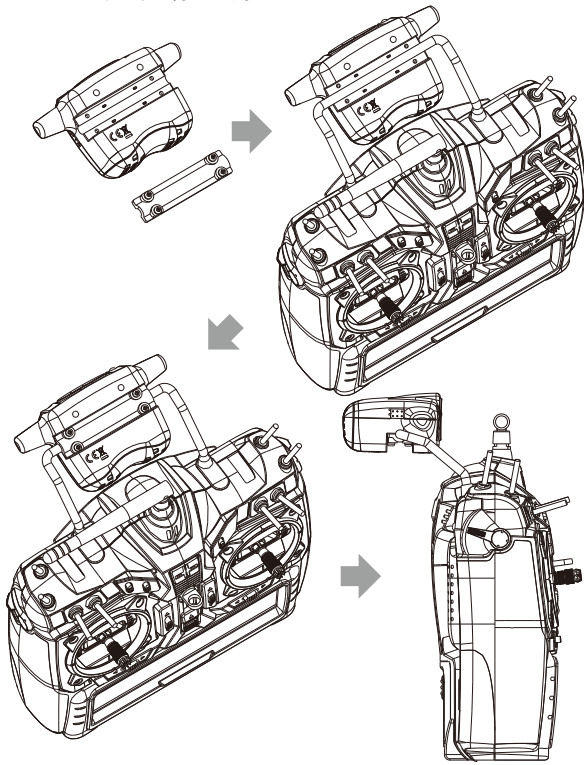
バッテリーBOXを開けて刻印マークに合わせて単四アルカリ電池を2本入れます。



使用電池はアルカリ電池を推奨します。  
Ni-MH電池では電池電圧低下警告が早に出されます。

## ■送信機キャリングバーへの取付方法

イラストのように取り付けます。



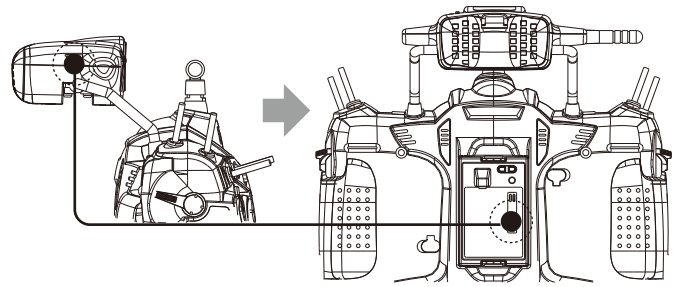
### ご注意!!



キャリングバーへの取付タッピングビスは締め付けすぎると容易に下穴がバカになりますのでご注意ください。  
軽く止まる程度で十分です。

Caution

## ■送信機との接続と使用方法



- 1: 付属の3PコネクタケーブルでHTS-VOICEの接続ポート(二か所のどちらでもOKです)とRFモジュールのDATA端子を接続してください。
- 2: 電源SW&ファンクションレバーをプッシュ(長押し)すると電源がONになります。電源のOFFもプッシュ長押しで行います。
- 3: 下記の順で電源をONにしてください。  
HTS-VOICE⇒送信機⇒受信機。 OFF時は逆手順で願います。
- 4: センサーステーションの各情報が順番にアナウンスされます。
- 5: 音量は動作中にレバーをUP⇔DLに操作すると変更されます。

## ■設定モード (HTS-VOICEの各設定を行います。)

- 1: HTS-VOICEの電源がOFFの時に電源SW&ファンクションレバーをUP側に操作します。しばらくするとLEDが点灯して設定モードで電源がONになります。
- 2: レバーのUP⇔DN操作で各項目の選択、レバーのプッシュで次項目へと進みます、同時に説明アナウンスも流れますのでアナウンスに従ってください。

(音量)	<b>PUSH</b>	(音量)	<b>Set up Mode</b>
<b>UP</b>		<b>DN</b>	<b>PUSH: 項目の切替</b>
			<b>UP: 逆送り</b>
			<b>DN: 順送り</b>

- 3: 単位設定(ユニットセレクションモード)  
インペリアルモード:速度がMPH、温度が華氏(F)になります。  
メトリックモード:速度がKM/h、温度が摂氏(°C)になります。
- 4: アナウンス間隔時間(アナウンスメントタイムディレイモード)  
チャタリングモード:常に連続してアナウンスします。  
10セカンドディレイモード:10秒間隔でアナウンスします。  
30セカンドディレイモード:30秒間隔でアナウンスします。
- 5: 電流センサー設定(エンターカレントセティングモード)  
イエス:電流センサー種類設定モードに進めます。  
ノー:レバーをプッシュすると設定モードを終了して電源がOFFになります。



HTS-SS Blue(電動用)をお使いの場合で「YES」を選択した場合、カレント(電流)、ボルテージ(電圧)、ワット(電力)をアナウンスします。

- 6: 電流センサー種類(セレクトセンサーモード)  
C-50:50Aセンサーの時に選択します。  
C-200:200Aセンサーの時に選択します。



使用する電流センサーの設定を間違えると正しく電流をアナウンスしません。

- 7: 設定モード終了(モードセレクションコンプリート)  
レバーを押すと設定モードが終了して電源はOFFになります。